

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-3-2	事業名	「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」の活用と推進
担当	市長政策室政策企画部企画課企画担当係 守屋 211-2192 経済局産業振興部新産業担当課コンテンツ担当係 瀬藤 211-2379		
全体計画			
事業内容	<p>[政]政策企画部</p> <p>創造都市さっぽろとは、市民や企業などの創造性を引き出し、都市の活性化を図るとともに、創造性あふれる環境や人材について積極的に情報発信することで都市のイメージ・評価を高め、外部からの注目や投資を獲得していく施策であり、庁内横断でその取り組みを実施していく。</p> <p>芸術の森地区を創造都市の推進拠点としていくために、芸術の森地区に立地する施設等による連携事業を実施</p> <p>クリエイティブ・コモンズを活用した創造経済知財運用の啓発・普及活動を行う民間組織の支援</p> <p>創造都市さっぽろ推進民間組織の発足</p> <p>[経]産業振興部</p> <p>創造都市さっぽろの取り組みの中で、外需型産業として今後期待されるコンテンツ産業の分野において、本市への投資が促進されるよう、札幌の都市ブランドを効果的に表現・発信するためのVI戦略(Visual Identity)を定め、この戦略に基づくプロモーションを地域のクリエイターと連携して進めていく。</p> <p>VIとは、目に見える部分によるブランド確立のことで、「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」を視覚的にアピールしていく方法</p>		<p>&lt;年度別の事業内容&gt;</p> <p>[政]政策企画部</p> <p>【19年度】庁内研究会による推進手法の検討、市民公開セミナーの開催など</p> <p>【20年度】創造都市さっぽろ芸術の森地区協議会の発足、アイコモンズ・サミットの開催など</p> <p>【21年度】クリエイティブ・コモンズ研究組織の支援、戦略的広報事業の実施など</p> <p>【22年度】民間創造都市推進組織の発足など</p> <p>[経]産業振興部</p> <p>【19年度】都市ブランドの活用方策として、VI戦略を進め、基本となるデザインを取りまとめる</p> <p>【20年度】19年度成果を元に、市内の若手クリエイター等をメンバーとしたワークショップを開催</p> <p>【21～22年度】ワークショップ等の継続、拡大</p> <p>【22年度】創造都市さっぽろのブランドを原資に、ビジネス化する法人の設立の検討(ブランド管理、商品化・商標権の販売など)</p>
	事業内容	平成19年度事業内容(決算)	平成20年度事業内容(決算)
事業内容	<p>[政]政策企画部</p> <p>庁内研究会「創造都市さっぽろ推進検討委員会」を発足をさせ、学識経験者の助言を得ながら、創造都市さっぽろの推進手法となる「創造都市さっぽろ推進検討委員会報告書」を取りまとめた。(5,000千円)</p> <p>クリエイティブ・コモンズの普及等を議論する国際会議「アイコモンズサミット2008」の誘致(6,468千円)</p> <p>創造都市さっぽろ市民公開セミナーの開催(400千円)</p> <p>芸術の森地区リスタート素案策定事業(2,478千円)</p> <p>[経]産業振興部</p> <p>(財)さっぽろ産業振興財団への委託</p> <p>(1)VI(Visual Identity)の策定:7,700千円</p> <p>「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」の考え方を視覚的に表すVIを策定し、そのコンセプト、利用法をまとめたマニュアルを作成し、マニュアルに基づくデザインを具体物に展開した(JR中央線と東急線の内車・構内用のPR映像、北海道洞爺湖サミットおもてなしロゴ、交通ICカード)</p> <p>(2)円卓会議の開催:3,500千円</p> <p>「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」の実現に向けた具体的施策の議論と、VI戦略の重要性の提言の場として開催</p> <p>IPビジネス研究会</p> <p>著作権、著作権等の権利を活用したビジネス手法の習得を目的とした研究会を開催</p>	<p>[政]政策企画部(2)～(4) 2,186千円)</p> <p>(1)アイコモンズサミット2008の開催(29,788千円)～20年7月29日から8月1日まで開催。550人参加(うち、海外からの参加者200人)</p> <p>(2)創造都市さっぽろ芸術の森地区協議会の設立～20年5月に芸術の森地区関係機関で発足。情報誌の発行やセミナー等を開催。</p> <p>(3)創造都市さっぽろ推進会議より創造都市さっぽろへの提言:学識者、有識者、公募委員で発足した市民会議より創造都市さっぽろの推進方策の提言を受ける。</p> <p>(4)創造都市さっぽろセミナーの開催:創造都市の第一人者、佐々木雅幸氏(大阪市立大学大学院教授)を招いてセミナー、ワークショップの開催。140人参加</p> <p>[経]産業振興部</p> <p>(1)創造都市産業活性化研究会(500千円)</p> <p>グラフィックデザインを活用した産業振興の可能性を検討するための研究会を立ち上げ、その方向性や具体策につき提言を受けた。</p> <p>(2)ワークショップ開催(2,205千円)</p> <p>地元クリエイターや学生等が参加するワークショップ等を開催、札幌を象徴する「クリエイティブ資源」を抽出しグラフィックを制作、具体的な成果品として市職員用の名刺デザインを制作した。</p> <p>(3)映像制作ワークショップの開催(945千円)</p> <p>(2)で制作したグラフィックを主な素材として「さっぽろスイーツ」、「札幌スタイル」、「さっぽろとれたてっこ」のPR映像を制作した。</p>	
	事業内容	平成21年度事業内容(予算)	平成22年度事業内容(予算)
規模	<p>[政]企画部</p> <p>(1)創造都市さっぽろ推進組織の検討</p> <p>(2)創造都市さっぽろフォーラムの開催</p> <p>(3)創造都市さっぽろ芸術の森地区協議会の運営</p> <p>(4)クリエイティブ・コモンズ普及活動の支援</p> <p>(5)クリエイティブ・シティーズ・ネットワークの研究</p> <p>【(1)～(4) 5,000千円】</p> <p>[経]産業振興部</p> <p>(1)創造都市さっぽろ産業活性化研究会(500千円)</p> <p>創造都市としての姿勢を内外に発信するとともに、クリエイティブ産業発展のための環境整備を進めるため、本市が競争力を持ち得る産業につき、その活性化の方策の検討と構築を行う。対象産業は、映像産業とする予定。</p> <p>(2)ワークショップ開催(1,000千円)</p> <p>地元クリエイターや学生等が参加し、札幌を象徴するクリエイティブ資源を抽出し、それらを素材としたデザインを作成するワークショップを開催。次代を担う学生たちに「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」の内容や意味を広めると同時に、クリエイター人材の育成にもつなげる。</p>		
件数			
等			

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	2-3-2		事業名	「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」の活用と推進			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
民間創造都市推進組織の設置		-	-	-	-	設置	設置
IPビジネス研究会への参加企業数		-	15社	-	-	50社	50社
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加                      [政]政策企画部]創造都市さっぽろセミナー・ワークショップに140名参加。学識者、有識者、公募委員計9名で構成する創造都市さっぽろ推進会議を発足させ、創造都市さっぽろの推進方策の議論を行った。                      [経]産業振興部]ワークショップに53人の市民が参加した。</p> <p>企業等との連携・協働                      [資金協力] 創造都市さっぽろ芸術の森地区協議会は、構成団体の応分の負担で運営している。                      [人材協力] (該当なし)                      [情報協力] (該当なし)                      [その他の協力]産業活性化研究会では、地元デザイナーやデザインを活用する企業等が参加し、産学官連携でグラフィックデザイン産業振興施策を議論した。</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり                      [政]政策企画部]市民全般を対象にしたセミナーを開催。大学、企業、住民組織等で構成する創造都市さっぽろ芸術の森地区協議会の発足。                      [経]産業振興部]産業活性化研究会において、企業がデザインを活用しやすい風土づくりについて検討した。</p>							
評価(成果)				課題			
<p>[政]政策企画部]                      ・創造都市さっぽろの推進の道標となる創造都市さっぽろへの提言を得た。                      ・創造都市フォーラム、ワークショップを開催し、創造都市概念の市民への浸透を図った。                      [経]産業振興部]                      ・グラフィックデザイン産業振興の方向性や具体的な方策に関する提言を得た。                      ・市民との共同によるワークショップ開催により、創造都市概念の市民への浸透を図るとともに、クリエイティブ人材の育成を行った。</p>				<p>[政]政策企画部]                      創造都市さっぽろの実現に向けた取組みは各部局に広がりつつあるため、それを束ねていく庁内連携組織が必要である。また、創造都市を実現していくには、官民連携で行動していくことが必須であるため、民側の機運を高めていく必要がある。</p> <p>[経]産業振興部]                      創造都市さっぽろという都市ブランドを活用して効果的な産業振興をつなげるために、対外的な情報発信を進めていき、市民に更に浸透させていく必要がある。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>[政]政策企画部]                      創造都市さっぽろを実感できるような事業展開を庁内連携で取りんでいく。また、官民連携で創造都市さっぽろを実現させていくために市民、企業の主体的な活動を支援していく。</p> <p>[経]産業振興部]                      産業活性化研究会では、本市が重点的に振興するコンテンツ産業分野について、その活性化を通じて、創造都市としての都市イメージを高めていく。ワークショップにおいては、市民への浸透、対外的な発信を行う。以上により、札幌の良質なイメージを醸成・発信することで、クリエイティブ企業・人材の進出、定着や注目度のアップなど、域内への投資促進を図りたい。</p>							

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード	2-3-2		事業名	「創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)」の活用と推進		
<b>事業費の推移</b>						
	項目	19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	14,500	32,000	17,000	16,500	80,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	14,500	32,000	17,000	16,500	80,000
予算	事業費	21,800	38,500	6,500	-	66,800
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0		0
	市債	0	0	0		0
	その他	0	0	0		0
	一般財源	21,800	38,500	6,500		66,800
実績	事業費	20,466	36,346	-	-	56,812
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
	その他	0	0			0
	一般財源	20,466	36,346			56,812
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				79.1%
<b>計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)</b>						
(全体)						
[19年度] 計画事業費に計上されていない創造都市さっぽろ推進研究費の予算を補正したため、計画事業費を上回る予算・実績となった。						
[20年度]						
[21年度] アイコモンズ・サミット後のクリエイティブ・コモンズの普及、活用等は、民間が主体的に行うため、事業費を縮減することができた。						